

畜産技術センターの沿革

- 昭和39年4月
松江市より移転新築し、畜産試験場開設
(飼料検査室、農林総合研修所、畜産研修所を併設)
- 昭和40年8月
飼料検査業務移管のため検査室廃止
- 昭和44年8月
種畜センターの設置により種畜科を廃止
- 昭和50年4月
種豚場の設置により養豚部門を廃止
- 昭和53年4月
中小家畜科を廃止、経営技術科を設置
- 昭和54年4月
農業大学の開設により、併設の畜産研修所を廃止
- 昭和59年4月
種豚場が廃止となり、畜産試験場斐川分場設置
- 昭和63年4月
経営技術科を廃止、繁殖技術科を設置
- 平成4年7月
本場施設整備事業工事着工
- 平成9年10月
本場施設整備事業竣工
- 平成13年3月
斐川分場廃止
- 平成13年4月
中山間地域担当を設置
- 平成15年3月
中山間地域担当を廃止し、中山間地域研究センターに業務を移管
- 平成16年4月
肥飼料検査所の廃止に伴い、飼料の検査、分析業務を当場に移管
- 平成17年4月
組織改正に伴い、畜産試験場を畜産技術センターに名称変更
- 平成18年4月
組織再編により、種畜センターを統合し、しまね和牛改良グループを設置
併せて、酪農グループと資源環境グループを合併し、酪農・環境グループとする。
- 平成25年4月
グループ制を科制に変更する。
- 令和3年4月
組織改正に伴い繁殖技術科を生産技術部へ編入。中山間地域研究センター
資源環境科の廃止に伴い企画調整スタッフを配置(中山間地域研究センター
一兼務)。
- 令和4年4月
組織改正に伴い生産技術部を廃止し、総務企画部を設置。総務企画部へ総
務担当、畜産技術普及課、企画調整スタッフ、酪農・環境科を酪農・担
手支援科へ名称変更し、編入。育種改良部を廃止し、育種改良・研究部を設
置。肉用牛科、繁殖技術科、しまね和牛改良科を編入。